

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 26 年 5 月 8 日

理事長 松山 良一

スペインから震災後最大級の大型インセンティブ・ツアーが訪日

(概要)

- スペインから、大手保険会社「Catalana Occidente社」の大型インセンティブ・ツアー(*)が、チャーター機で来日する。
- 訪日予定者総数は約600名で、2011年の東日本大震災後、欧州からのインセンティブ・ツアーとしては最大規模。5月12日に来日し、京都に2泊、東京に3泊滞在する。
- Catalana Occidente社は、1864年に設立されたスペインで最も歴史の古い保険会社であり、同社の150周年記念となる2014年のインセンティブ・ツアー訪問地として、伝統文化と最新技術が融合した国である日本が選ばれた。
- 日本政府観光局 (JNTO) では、京都文化交流コンベンションビューロー (KCB) や東京観光財団 (TCVB) 等と連携し、ツアーが到着する関西国際空港での歓迎メッセージの掲示やギブアウェイの提供など、歓迎メニューを提供する。
- JNTO は、2020年訪日旅行者2,000万人達成に向けて、今後も海外からのインセンティブ・ツアー誘致を推進していく。

* インセンティブ・ツアー： 企業が販売代理店や従業員等を対象に行う報奨旅行

【日本滞在中のプログラム・JNTO 等の支援内容】

- ・ 京都、東京の社寺仏閣を中心とした日本の伝統文化を堪能できる観光地を巡るツアーのほか、国立京都国際会館での表彰式、八芳園にて日本の祭りをテーマにした夕食パーティーなどが予定されている。
- ・ 空港での歓迎メッセージの掲示や、参加者へのJNTO理事長名によるウェルカムレターの発出、各地にてギフトの提供 (KCB、TCVB)、JNTO理事による歓迎スピーチ等を行う。

【訪日スペイン人旅行の動向】

- ・ 震災後の旅行需要の回復、対ユーロの円安傾向により、2013年に日本を訪問したスペイン人旅行者数は、前年比26.3%増の44,461人となり、うちインセンティブ旅行を含む商用旅行者数が同15.6%増の7,196人となった。商用旅行者数は、震災前の5,478人 (2010年) を大きく上回っており、一般観光の回復とともに、企業出張やインセンティブを含む商用旅行の伸びも窺える。
- ・ 日本スペイン交流400周年にあたる2013年から2014年にかけて、スペインにおいて日本に関連するイベントが多く開催されたことにより、日本の認知度が高まったと考えられる。

本件に関するお問い合わせ先：
コンベンション誘致部 (山岸)
TEL: 03-3216-2905

